

政治は変えられる

— 民主党政権で何ができたのか —

① 講演

脱グローバリズムの潮流と課題

— 新しいルールを求めて —

演者 **井手 英策氏** (慶応義塾大学経済学部教授)

② 証言 1

民主党政権時代、その前後

証言者 **竹下 義樹氏** (弁護士、生活保護裁判連絡会事務局長)

③ 証言 2

民主党政権は、何ができたのか？

証言者 **福山 哲郎氏** (元官房副長官・参議院議員)

④ 発言

私たちの反省

— 「あの時」を踏まえて、これからのこと

発言者 **渡邊 賢治** (京都府保険医協会副理事長・京都社会保障推進協議会議長)



安倍政権の支持率は未だ6割を維持し、国政選挙にも強い。この傾向の根底にあるのは「どうせ政治は変わらない」という人々の「諦念」ではないか。

私たちは一度、自らの手で政権を変え、政治を変えようとした経験がある。それは民主党政権を誕生させた2009年のあのときである。政権交代へかけた国民の期待が切実だったからこそ、最終的に構造改革路線に回帰し、退場した民主党への失望は大きかった。しかし、民主党政権は少なくともその初期において、子育て、教育、医療の充実をめざし、いわゆるムダな公共事業に切り込んだ。これは、国民の運動が政治を変えた確かな証であり、「政治は変えられる」ことを示すものである。

私たちは、民主党政権について「何ができなかったか」ではなく、「何ができたのか」という視点から再評価し、それがなぜ「失敗」と言われる結末に至ったかについて考えたいと思う。それが、政治は変えられるかどうかを考えるうえで、欠かせない作業だと考えるからである。

5月13日(土) 14:00~17:00

ハートピア京都 大会議室

地下鉄「丸太町駅」5番出口あがる
駐車場はありません

主催 **京都府保険医協会** TEL:075-212-8877

京都市中京区七観音町 637 インターワンプレイス烏丸6階

要申込、無料 (定員 100人)
FAX 075-212-0707 Mail info@hokeni.jp



お名前

連絡先

人数

※この用紙に記入のうえ上記宛先にFAXしていただくか、メールにてお知らせください